

## ● 血清蛋白(血液検査)③

### アルブミン/グロブリン比<A/G比>

<p>意義</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アルブミンとグロブリンの濃度を比で示したもの</li> <li>• A/G比の上昇は、グロブリンの減少により起こる</li> <li>• A/G比の減少は、アルブミンの減少、グロブリンの増加、両者の合併、アルブミンとグロブリンの減少により起こる。</li> <li>• 主に免疫グロブリン増減のスクリーニングに用いられる</li> </ul>
<p>基準範囲*</p>	<p>1.1~2.3</p>
<p>異常値で疑う疾患</p>	<p>高値：無グロブリン血症、免疫不全、放射線照射、薬剤          低値：アルブミンの減少—合成の低下(肝硬変)、血管からの漏出(ネフローゼ症候群)          グロブリンの増加—M蛋白の出現増加(多発性骨髄腫)、          γグロブリンの増加</p>
<p>服薬指導に活かせるポイントなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ステロイド、免疫抑制剤服用時やがん化学療法施行時には高値を示す</li> <li>□ A/G比が高値を示す場合、免疫抑制による易感染性をきたしている可能性があるため感染に対する注意を促す</li> </ul>